

平成27年度

当別町の教育

当別町教育委員会

目 次

当別町教育目標	1
当別町教育推進計画	2
教育予算	3

【 学 校 教 育 】

1 当別町小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数及び施設の概況	5
(2) 児童生徒数の推移	6
(3) 各学校概況	
当別小学校	7
弁華別小学校	9
西当別小学校	11
当別中学校	13
西当別中学校	15
弁華別中学校	17
2 学校給食	19
3 平成27年度当別町学力向上プラン	20
4 当別町の小中一貫教育	22
5 保護者支援制度	25
(1) 就学援助	
(2) 特別支援教育就学奨励費	
(3) 特別支援学級等通学援助費	
(4) 私立幼稚園助成費	

【 社 会 教 育 】

1 社会教育関係事業	28
(1) 学校教育との連携事業	
(2) 生涯学習推進事業	
(3) 読書活動推進事業	
(4) 生涯スポーツ推進事業	
2 社会教育施設	32

【 資 料 】

教育委員	37
平成26年度教育委員会等開催状況	38
教育委員会組織図 課及びセンターの分掌事務	39
教育関係各種委員	40
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育サポート組織	
(3) 学校評議員	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町社会教育委員会	
(7) 当別町文化財審議会	
(8) 当別町少年指導センター	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
教育関係各種団体	48
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会	
(3) 当別町子ども会育成連合会	
(4) 当別町女性団体連絡協議会	
文化財一覧	50
教育の沿革	51



当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

学校教育推進目標

- ひとりひとりを生かす創意ある学校経営。
- 自ら考え創造する力を育てる学習指導。
- 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導。
- 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導。

社会教育推進目標

- 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成。
- 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進。
- 健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進。
- 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進。

[昭和31年 制定]

平成27年度 当別町教育推進計画

当別町の目指す姿

「自然を身近に感じ 活力に満ちた美しい町 当別町」

※第5次総合計画(平成21年度～30年度)

当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる
科学的な知識や技能を身につける
豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
明るく豊かで住みよい郷土をきずく

学校教育推進目標

ひとり一人を生かす創意ある学校経営
自ら考え創造する力を育てる学習指導
豊かな心で実践する力を育てる生徒指導
生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育推進目標

自ら学び活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成
明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進
楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

基本姿勢

『第4次当別町生涯学習推進計画』(平成26年度～30年度)

～当別に暮らす人にとっての生涯にわたる「まなび」の道しるべ～
この計画を軸に、それぞれの課題を踏まえながら学校教育、社会教育に係る施策を展開する。

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

育てたい児童生徒像

～知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成～

社会教育

【基本方針】

全ての町民が幸せを感じることできる生涯学習社会の実現

【重点的取組】

- (1) 生涯学習プログラムの充実
- (2) 保護者、学校との連携を重視した教育プログラムの充実
- (3) 家庭の教育力向上への支援
- (4) 青少年、成人教育の充実
- (5) 文化・芸術・スポーツ活動の推進

【具体的取組】

- ① 平成26年新設プログラムの更なる充実と新たな学習プログラムの開発、実施
- ② 社会教育にかかわる各種委員会の活性化
- ③ 学校を核とした地域強化プラン事業の実施
- ④ 「家庭教育の手引き」の活用による保護者支援
- ⑤ 「親力つむぎ事業」の成果を生かした新たな事業の実施
- ⑥ ジュニアリーダー育成事業への支援
- ⑦ 少年団活動への支援
- ⑧ コーディネーショントレーニングやNEWスポーツの普及
- ⑨ 新たな子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
- ⑩ 図書室環境の向上・充実
- ⑪ 芸術・文化・スポーツによる地域コミュニティの活性化
- ⑫ 学校教育と連携した児童・生徒支援

学校教育

【基本方針】

子どもの発達や学びの連続性を踏まえていねいな教育の推進

【経営目標】

着実な成果を上げる学校経営

【重点的取組】

- (1) 学校全体で取り組む確かな学力の育成
- (2) 道徳教育を基軸とした豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 異校種間の連携推進
- (5) 教師力を高める研究・研修の実施

【具体的取組】

- ① 学校支援(ICT環境の整備)・指導の強化
- ② 全国学力・学習状況調査の分析と学校改善プランへの指導助言
- ③ 学力向上プランの作成
- ④ 国際理解教育・英語教育の推進
- ⑤ 道徳教育に関する指導助言
- ⑥ 全国体力・運動能力等調査の分析と改善策への支援
- ⑦ 社会教育と連携した児童・生徒支援
- ⑧ 一貫教育導入の準備
- ⑨ 今日的課題に対応した教職員研修の推進(夏、冬の研修)
- ⑩ 弁華別小学校・弁華別中学校の統合に向けた支援
- ⑪ 教育環境整備

学校給食

【基本方針】

安全安心な給食の提供

【重点的取組】

- (1) 食育の指導推進
- (2) 食物アレルギーへの対応
- (3) おいしい給食の研究
- (4) 異物混入防止体制の強化
- (5) 学校や関係機関との連携

【具体的取組】

- ① 地場産食材の活用
- ② 栄養教諭による学校(食育)指導の充実
- ③ アレルギー対応マニュアルの普及啓発
- ④ 医療機関との情報交換
- ⑤ 石狩管内各給食センターとの連携
- ⑥ 児童生徒アンケートの実施
- ⑦ 委託業者の定期点検・指導
- ⑧ 学校(配膳室、搬入口)の定期点検・指導
- ⑨ 学校との意見交換
- ⑩ 石狩管内学校給食研究協議会との情報交換

点検・評価

○ 学校においては、各校で自己点検・評価を行い、それを元にした学校関係者評価を行う。

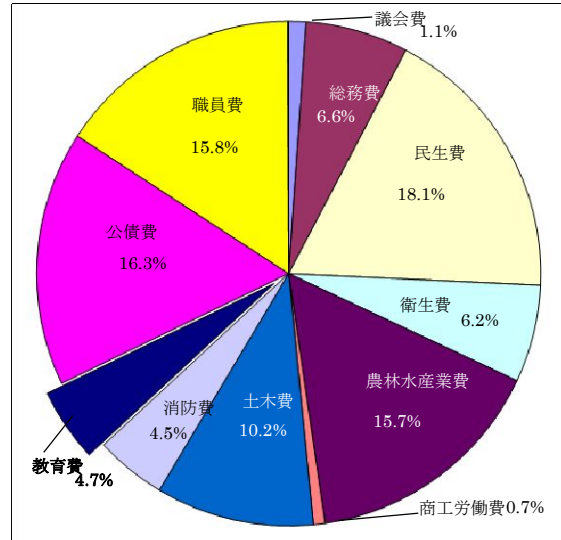
○ 教育委員会においては、事務事業評価を行い外部による評価を受ける。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

➤ 教育予算

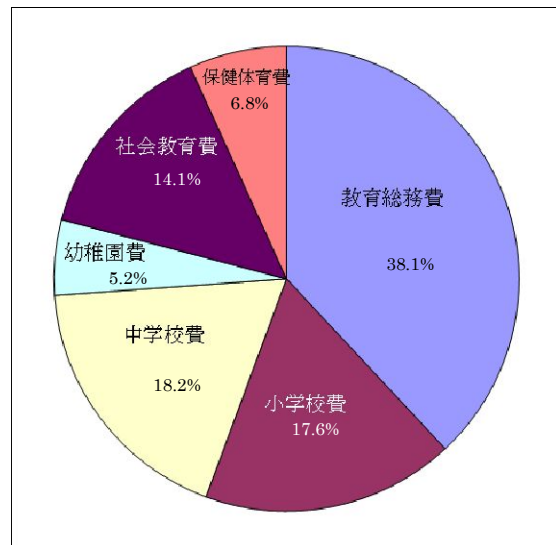
1 平成27年度 一般会計当初予算額 94億1,566万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
議会費	103,894	1.1
総務費	620,495	6.6
民生費	1,699,738	18.1
衛生費	586,370	6.2
農林水産業費	1,480,083	15.7
商工労働費	69,647	0.7
土木費	955,561	10.2
消防費	428,001	4.5
教育費	443,840	4.7
公債費	1,538,326	16.3
職員費	1,484,696	15.8
その他	5,005	0.1
総額	9,415,656	100



2 平成27年度 教育費当初予算額 4億4,384万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
教育総務費	168,914	38.1
小学校費	77,996	17.6
中学校費	80,890	18.2
幼稚園費	23,261	5.2
社会教育費	62,661	14.1
保健体育費	30,118	6.8
総額	443,840	100



3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成23年度	8,119,712	1.0	381,780	▲3.0	4.7
平成24年度	7,621,761	▲6.1	409,258	7.2	5.4
平成25年度	7,527,474	▲1.2	429,241	4.9	5.7
平成26年度	7,715,027	2.5	420,603	▲2.0	5.5
平成27年度	9,415,656	22.0	443,840	5.5	4.7

※各年度当初予算額

4 主な事業

(地域創生先行型緊急支援事業費)

各小中学校 ICT 機器整備事業 (H26 繰越明許費 12,700 千円)

各小中学校の普通教室及び特別教室に ICT 機器として、電子黒板内蔵プロジェクター及び実物投影機を配置する※電子黒板内蔵プロジェクターは小学校 4 年生以上

(地域創生先行型緊急支援事業費)

一貫教育推進事業 (H26 繰越明許費 1,778 千円)

外部有識者による研修やカリキュラム作成等に係る取組、「小中一貫教育全国サミット」への参加など小中一貫教育の推進を図る

弁華別小学校・弁華別中学校閉校記念事業協賛会補助金 (1,600 千円)

弁華別小学校、弁華別中学校の閉校に関し、記念事業を実施する弁華別小学校・弁華別中学校閉校記念事業協賛会への補助金

特別支援教育推進事業 (12,821 千円)

発達障害を含む障害のある児童生徒の学習活動等の支援体制を図る。(支援員・介助員)

英会話指導助手配置事業 (9,240 千円)

各小学校に英会話指導助手を派遣し、英語教育の充実を図る。
(小学校 1-4 年 10 時間、5-6 年生 35 時間、中学校 9 時間)

学校を核とした地域力強化プラン事業 (2,971 千円)

学校の支援活動を行う学校支援地域本部事業の実施及び、児童生徒の家庭学習支援として放課後学習、土曜学習などの事業を実施し、子どもたちの教育の充実を図る。

高齢者が生きる地域しごと支援事業 (6,380 千円)

高齢者の活用を通じ、若者への技術の伝承や、高齢者と多世代交流によるコミュニティーの活性化と、若者の地元定着を図る。